

- 厳しい財政状況の中でも -

将来にわたり安定した住民 福祉を確保してまいります

2月28日から開催された平成20年第1回白岡町議会定例会で、平成20年度の予算が可決されました。

平成20年度 各会計当初予算			
会計名	予算額	前年度比	
一般会計	107億4,300万円	1.6%	
特別会計	国民健康保険	40億 289万9千円	1.6%
	老人保健	4億1,305万4千円	83.2%
	後期高齢者医療	3億5,352万5千円	皆増
	介護保険	16億6,649万6千円	4.6%
	農業集落排水事業	8,440万8千円	41.0%
	公共下水道事業	10億2,306万3千円	2.9%
	野牛・高岩土地区画整理事業	8億5,002万4千円	197.5%
	白岡駅東部中央土地区画整理事業	3億3,134万3千円	8.3%
合計	194億6,781万2千円	4.9%	
企業会計	水道 収益的収入	9億 809万6千円	1.8%
	水道 収益的支出	8億6,357万1千円	2.4%
	事業 資本的収入	1億6,426万1千円	191.7%
	事業 資本的支出	6億9,149万4千円	70.0%

平成20年度一般会計当初予算は、歳入歳出それぞれ、107億4,300万円、前年度と比べ額にして1億6,500万円、率にして1.6%の増。これに特別会計を含めると、総額194億6,781万2千円、前年度と比べ額にして10億838万5千円、率にして4.9%の減です。

予算編成に当たっては、「白岡町改革推進プログラム」に基づく「選択と集中・町民との協働によるまちづくり」を行政運営の基本方針として、消費的経費の抑制や投資的経費の確保を図り、限られた財源の効果的かつ重点的な予算配分に努めました。

また、徹底した経費削減を断行する中であっても、安全・安心のまちづくり推進の視点を持ち、創意工夫を凝らしながら住民の生活環境の向上を図るとともに、今まで以上に自立的な行政運営を行い、将来にわたり安定した住民福祉を確保しなければならないことを踏まえつつ編成しました。

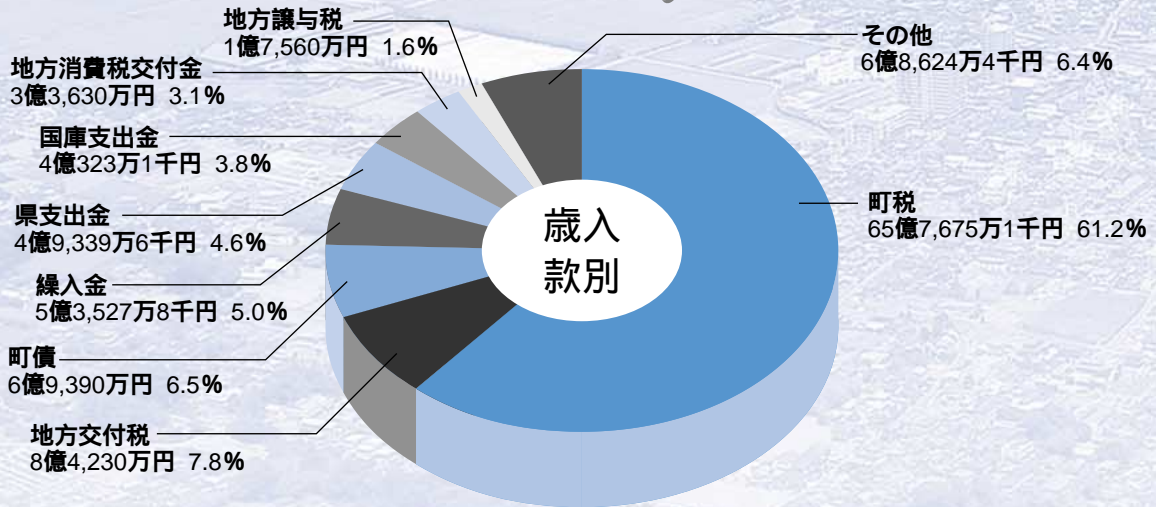
歳入における町税は、前年度比0.4%増の65億7,600万円余りを見込み、主な事業としては、子ども医療費支給事業、小学校低学年教室扇風機設置工事、消防ポンプ自動車購入事業などとなっています。

問合せ 政策財政課財政担当 内線364

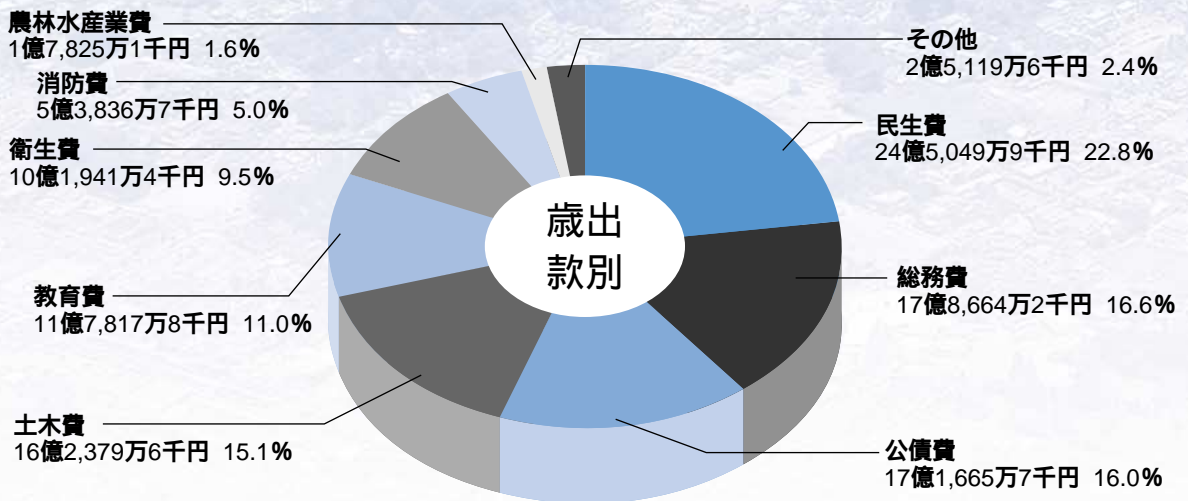
一般会計のあらまし

予算総額107億4,300万円

歳入



歳出



町民1人当たりの予算額(一般会計) 216,567円					町民1人当たりの町税負担額 132,580円		
民生費 49,399円	総務費 36,017円	公債費 34,606円	土木費 32,734円	教育費 23,751円	町民税 67,391円	固定資産税 57,000円	市町村たばこ税 4,133円
衛生費 20,550円	消防費 10,853円	農林水産業費 3,593円	その他 5,064円	平成20年1月末日現在の人口49,606人で算出しています	都市計画税 3,056円	軽自動車税 1,000円	

町政運営に関する基本的考え方



はまだ ふくじ
濱田 福司 町長

我が国は、長く続いた右肩上がりの経済成長の時代から、低成長、少子・高齢化による人口減少へと時代が大きく変化しております。地方公共団体におきましても、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図るため、将来を見据えた改革努力が求められております。

町では「白岡町改革推進プログラム」に基づき、さまざまな改革の取り組みを進めてまいりましたが、平成20年度はその中間地点であり、目標達成とその検証が重要となる年になるものと存じます。

平成20年度の町政運営に当たりましては、引き続き「選択と集中、町民との協働によるまちづくり」を行政運営方針として、町民福祉の向上を第一に考え、最少の経費で最大の効果が得られますよう全力を傾注してまいりますので、町民の皆様の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。